

試験湛水中^{*}の栴川ダムからの放流による渇水対応（令和7年6月～10月）

※試験湛水中であるため、通常は湛水を優先し、香東川本川のかんがい用水や新規水道用水を補給していない。

○令和7年渇水状況

- ・ 四国地方では、6月27日に梅雨明け（記録的に早い梅雨明け）となり、香川県内県東部（東讃及び高松（試験湛水中の栴川ダムを除く））のダムにおいては、8月31日時点の平均貯水率が47%と平年値80%を大きく下回った。
- ・ 特に、かんがい面積の大きい内場ダムでは、かんがい用水が必要な9月下旬での利水容量の枯渇や、夏季における貯水位低下に伴う水質悪化が懸念された。

○栴川ダムにおける対応

内場ダムの利水放流を低減させ、内場ダムの同一水系で上流側に位置する試験湛水中の栴川ダムから、緊急的に約1,800千m³の放流を実施したことにより、内場ダムの枯渇を回避し、水道用水及びかんがい用水の安定的な取水を確保した。



この地図は、測量法第29条に基づく承認「R4SI15」を得て、国土地理院発行の5万分の1地形図を複製したものを、一部転載したものである。

